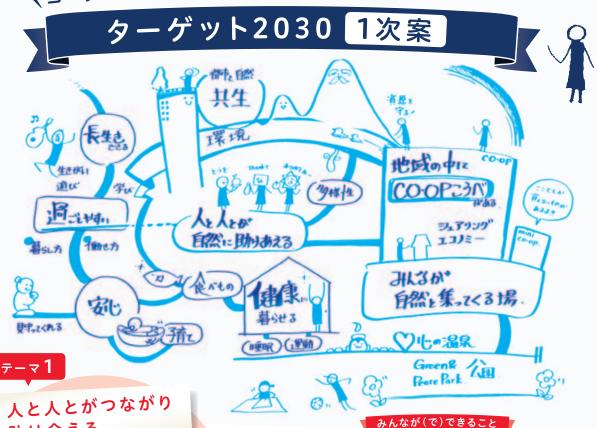
CO·OP NEXT100の取り組み

ヘコープこうべのビジョン **/**



助け合える

ありたいくらし・地域

- ●「楽しく」「幸せ」な毎日を 「笑顔」で送りたい
- ●誰一人取り残さない 地域社会でありたい
- ●「しぜんと」「ゆるやかに」 つながり合いたい

助け合える「仕組み」や 「機会 | を地域社会と ともにつくる

- ●人が出会える、くらしの 拠点づくり
- ●地域諸団体と連携した 有償・無償の活動づくり

さまざまな 資源をつなぐ

● 「人」「モノ」「コト」「情報」を マッチングする プラットフォームの役割

テーマ2

健康でいきいきと した毎日

ありたいくらし・地域

- すべての人がいきいきと、 自分らしく生きることができる 地域社会でありたい
- ●地域社会に貢献できる 体と心の健康を保ちたい
- みんながつどえる・交流できる "場"でありたい

くらしのインフラとしての役割

●多様なくらしに対応できる(次世代につながる)場

みんなが(で)できること

笑顔あふれる 食卓の提案

- ●より良い"食"のあり方追求と くらしの提案
- ●時代に即した食の提案と 食文化の伝承

情報社会だからこそ 誠実で分かりやすい カタチで伝える

- ●食の安全に関する情報を 正しく伝える
- ●生活に関するよりよい情報を アップデートして伝える
- ●多様な課題(介護・育児など) に対応した、食とくらしの提案

だれもが利用しやすい場の提供

●楽しくつどえる"場"、だれもが利用しやすい"仕組み"づくり



『ターゲット2030』づくり

2019年度は、9092人の組合員・役職員から"2030年のありたいくらし・地域" についての声を聞き、以下の4つのテーマが見えてきました。

2020年4月には、その4つのテーマに関して、総代のみなさんからも声をお寄せいただき1次案が完成しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による社会の変化、新しい生活様式への 転換をしっかりと受け止め、新たな視点、発想を取り入れながら、 みんなで知恵を寄せ合って、いつまでもこのまちにくらし続けたいと思える 地域にしたいと思っています。



9

『ターゲット2030』とは

2030年、私たちが暮らす地域はどうあってほしいか。その中で、どんなくらしをしていたいか。 そんなことに一人ひとりが想いをはせ、2030年のありたい姿やその実現に向けて、 私たちに何ができるかを示すビジョンが『ターゲット2030』です。

テーマ3

持続的なまちと 自然との共生

ありたいくらし・地域

- ●多様な"いのち"を育む豊かな 自然を未来につなぎたい
- ■限りある資源を大切にし、 地球環境を守りたい
- ●人と自然が共生する地域でありたい



みんなが(で)できること

より良い消費行動・ 運動につなげる消費の スタイリスト

- ●地球環境に配慮した、 くらし方の提案
- ●環境問題を学び、食品ロスを なくす取り組み
- ■適量・少量、食育・住育の提案

地域資源を循環させる コーディネーター

- ●活動エリア内の資源を活用し、 生産者と消費者のモノ・コト・ 情報のシェアをサポート
- 限りある資源を取りつくさない 食とくらしの提案

防災力NO.1の地域づくり

- 防災・減災の啓発と防災人材の育成
- ●備えのある地域の拠点

テーマ4

みんなが安心できる

ありたいくらし・地域

- 子どもたちが明るい笑顔で 暮らせる・学べる・遊べる 地域でありたい
- ●子育て、介護、障がいの 不安があっても、暮らしやすい 地域社会でありたい
- ●世界が"平和"であり続けたい

安心して子育てが できるよう世代を超えて つながる場づくり

お困りごとを気軽に 相談できる交流の場づくり (地域で、オンライン上で)

誰もが働きやすい 社会づくり

- ●時間や場所にしばられない 働き方の実現
- ●子育て、介護、障がいの 不安があっても得意分野を 生かした働き方が実現できる 仕組みづくり

世界平和を願う運動体

- ●誰もが参加し、取り組みやすい平和活動の枠組みづくり
- 平和とより良いくらしの実現を追求し続ける